

平成19年度笠間市一般・特別会計
決算特別委員会記録 第4号

平成20年9月11日(木曜日)午前10時00分開議

全 員 協 議 会 室

本日の会議に付した案件

- 認定第1号 平成19年度笠間市一般会計及び同特別会計歳入歳出決算認定について
認定第2号 平成19年度笠間市笠間水道事業会計決算認定について
認定第3号 平成19年度笠間市友部水道事業会計決算認定について
認定第4号 平成19年度笠間市岩間水道事業会計決算認定について
認定第5号 平成19年度笠間市工業用水道事業会計決算認定について
認定第6号 平成19年度笠間市立病院事業会計決算認定について

出 席 委 員

委 員 長	海老澤 勝 男 君
副 委 員 長	西 山 猛 君
委 員	石 田 安 夫 君
〃	野 口 圓 君
〃	藤 枝 浩 君
〃	鈴 木 裕 士 君
〃	上 野 登 君
〃	竹 江 浩 君
議 長	石 崎 勝 三 君

欠 席 委 員

な し

出 席 説 明 員

市 長	山 口 伸 樹 君
副 市 長	渡 邊 千 明 君
教 育 長	飯 島 勇 君
市 長 公 室 長	塩 田 満 夫 君
総 務 部 長	深 澤 悌 二 君
市 民 生 活 部 長	打 越 正 男 君

福 祉 部 長	岡 野 正 三 君
保 健 衛 生 部 長	仲 村 洋 君
産 業 経 済 部 長	青 木 繁 君
都 市 建 設 部 長	小松崎 登 君
上 下 水 道 部 長	早乙女 正 利 君
教 育 次 長	加 藤 法 男 君
消 防 次 長	植 木 敏 夫 君
会 計 管 理 者	仲 村 新 一 郎 君
学 務 課 長	大和田 俊 郎 君
学 務 課 長 補 佐	大 月 弘 之 君
学 務 課 指 導 室 長	高 橋 一 夫 君
笠 間 給 食 セ ン タ ー 所 長	田 口 孝 市 君
岩 間 給 食 セ ン タ ー 所 長	飯 田 守 君
笠 間 幼 稚 園 長	佐々木 教 子 君
稲 田 幼 稚 園 長	田 中 恵 子 君
学 務 課 主 査	山 田 優 君
学 務 課 主 査	入 江 康 彰 君
学 務 課 主 査	綱 川 廣 道 君
生 涯 学 習 課 長	小 坂 浩 君
生 涯 学 習 課 長 補 佐	小松崎 洋 治 君
国 民 文 化 祭 推 進 室 長	河原井 規 夫 君
笠 間 公 民 館 長	郡 司 弘 君
友 部 公 民 館 長	鈴 木 倫 孝 君
岩 間 公 民 館 長	鈴 木 利 通 君
笠 間 公 民 館 係 長	細 谷 敦 君
笠 間 図 書 館 長	綿 引 孝 一 君
友 部 図 書 館 長	清 水 隆 君
笠 間 図 書 館 主 査	後 藤 芳 彦 君
友 部 図 書 館 主 査	石 上 節 子 君
岩 間 図 書 館 係 長	谷 田 部 仁 史 君
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	松 江 和 男 君
ス ポ ー ツ 振 興 課 長 補 佐	打 越 邦 彦 君
ス ポ ー ツ 振 興 課 主 査	松 田 輝 雄 君
都 市 建 設 課 長	大 石 直 人 君
都 市 建 設 課 長 補 佐	藤 枝 泰 文 君

都市建設課主査	打越久勝君
都市建設課主査	吉田貴郎君
道路整備課長	伊勢山正君
道路整備課長補佐	荻津忠彦君
道路整備課長補佐	市村勝己君
道路整備課主査	飛田信一君
道路整備課主査	太田周夫君
笠間支所道路整備課長	竹川洋一君
笠間支所道路整備課長補佐	笹ノ間宏君
笠間支所道路整備課主査	赤上信君
笠間支所道路整備課主査	園部彰君
岩間支所道路整備課長	飯田満君
岩間支所道路整備課長補佐	入江俊郎君
岩間支所道路整備課主査	安達正一君
岩間支所道路整備課主査	小松崎宏君
都市計画課長	仲田幹雄君
都市計画課長補佐	青木理重君
都市計画課主査	柳原克之君
都市計画課主査	堀越信一君
会計課長補佐	岡野晃久君
監査委員事務局長	西連寺洋人君
監査委員事務局係長	綱川葉子君

出席議会事務局職員

事務局長	鈴木健二
事務局次長	高野幸洋
次長補佐	柴山昭
主査	高野一

午前10時00分開議

海老澤委員長 改めまして、皆さんおはようございます。

委員の皆さん、また議長、そして執行部の方々におかれましては、連日ご苦労さまでございます。本日は、決算特別委員会の最終日でありますので、よろしくご協力のほどをお願い申し上げます。

ご報告を申し上げます。

ただいまの出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

本日は、教育委員会、都市建設部、会計課、監査委員事務局、議会事務局所管の一般会計歳入歳出決算の審査を行います。

議案説明のため出席を求めた者は、別紙の名簿のとおりでございます。

本日の会議の記録は、次長補佐をお願いいたします。

また、町田征久議員より傍聴したい旨の申し出がありまして、許可をいたしましたので、ご報告をいたします。

海老澤委員長 初めに、教育委員会学務課所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

歳入、歳出決算と続けて説明を願います。

学務課長大和田俊郎君。

大和田学務課長 学務課所管の一般会計歳入歳出決算のご説明を申し上げます。

まず、歳入でございますが、19ページをお開きいただきたいと思います。

分担金負担金でございます。4目教育費負担金、小学校費、中学校費、幼稚園費で301万2,440円の収入でございます。小学校費につきましては、195万860円で、日本スポーツ振興センターへの災害保険料でございます。これは保護者からの負担金でございます。以下、中学校、幼稚園とも同じでございます。中学校費が101万3,380円、幼稚園費が4万8,200円でございます。

続きまして、21ページをお開きいただきたいと思います。

教育使用料、6目です。幼稚園使用料として1,554万4,500円、これは笠間、稲田幼稚園の使用料でございます。

続きまして、23ページをお願いいたします。

教育手数料、6目です。その1の教育手数料27万円、これにつきましては幼稚園の入園料でございます。

続きまして、25ページをお開きいただきたいと思います。

国庫補助金でございます。6目の教育費国庫補助金、小学校費補助金でございますが、28万7,950円、これは特殊教育就学奨励補助金でございます。2節の中学校費補助金5,487

万7,050円、主なものは友部中学校校舎の改築の補助金でございます。3の幼稚園費補助金は1,890万6,000円、これは幼稚園の就園奨励の補助金でございます。

続きまして、29ページをお開きいただきたいと思います。

一番上になります。県補助金の8目教育費県補助金、1節の教育総務費補助金でございますが、1,021万24円、これにつきましてはT T特別配置事業や適応指導教室の補助金でございます。2節の中学校費補助金8万2,500円、これにつきましてはスポーツエキスパート活用事業の補助金でございます。

続きまして、その下の委託金でございますが、まず、総務費委託金の中に5節統計調査費委託金がございます。その中に、1万5,000円ですが、学校基本調査費の委託金が入っております。

その委託金の最後になります6目の教育費委託金ですが、中学校費委託金と小学校費委託金がございます。これは学校保健安全研修事業補助金や、英語の活動等国際理解度活動推進事業の補助金、あと理科支援員等の配置の事業の補助金等も入っております。

16款の財産収入、一番下になります。2目の利子及び配当金1,510万2,208円のうち、81万9,520円が学務課所管でございます。主なものは、義務教育の施設整備基金の利子や教育振興基金、育英基金、あと大原小学校の教育振興基金等の利子でございます。

続きまして、31ページをお開きいただきたいと思います。

17款の寄附金でございます。2目の教育費寄附金500万円、これにつきましては大原小学校へ教育振興基金への指定寄附が有志の方からございまして、それが500万円でございます。

続きまして、33ページをお開きいただきたいと思います。

下から2番目になります。9目の義務教育施設整備基金繰入金でございますが、1,794万7,500円、これにつきましては友部中学校の校舎改築に充てた繰入金でございます。

その下の10目育英基金繰入金229万8,442円、これにつきましては育英奨励金に充てたものでございます。

続きまして、雑入に入ります。39ページお願いいたします。

雑入の3目でございます。給食事業収入、学校給食費で1億8,021万3,222円、これにつきましては笠間、岩間の両給食センターのセンター方式の学校給食費でございます。

続きまして、その下の雑入でございますが、2節の雑入4億886万9,154円のうち、4万2,500円がおはしセットの売り上げ代として収入しております。

続きまして、歳出に移らせていただきます。

97ページをお開きいただきたいと思います。

9款教育費、1項教育総務費の1目教育委員会費でございますが、教育委員さんの報酬等の委員会費でございます。236万2,983円でございます。

続きまして、2目の事務局費でございますが、教育関係、管理関係の人件費や、市内の

学校で行う事業等の支出でございまして、2億4,870万9,517円でございます。

その主なものといたしまして、99ページをお開きいただきたいと思えます。

13節の委託料でございますが、5,906万2,059円につきましては、英語のAETの事業の委託料、またバスの運行委託料、これにつきましては小学校なんかでは校外学習等に使うバス、また中学校では部活動で試合等公式試合があるときにバスを借り上げるものでございます。あとは路線バスの運行委託、これ稲田小学校でございますが、それらが入っております。

続きまして、負担金補助でございますが、3,244万5,261円、これには県からの派遣指導主事の負担金が2,800万円入っております。また、育英基金の補助金として230万円、これは33人の方に月6,000円で支払った育英基金の補助金でございます。

その下の25節の積立金579万5,946円でございますが、先ほど寄附金でありました大原小学校への振興基金の寄附を入れまして、あとは利子の積立金でございます。

続きまして、2項の小学校費、1目学校管理費でございますが、学校関係の職員の人件費や学校維持管理、あと学校の給食費、友部地区のものでありますが、トータル5億4,877万1,173円の支出でございます。

主なものといたしまして、13節の委託料でございますが、4,612万2,038円、これにつきましては南小が東小へのスクールバスの運行委託料、あとは子供たち、児童、先生方の健康診断委託料、そのほか北川根小学校での調理の業務委託料等であります。そのような委託料でございます。

続きまして、14節の使用料及び賃借料1,223万536円でございますが、その主なものは、教師用パソコンの使用料約940万円でございます。

その前に、先ほどの委託料の中で繰越明許費で834万8,000円があり、これは笠間小学校の校舎耐震診断の繰り越し、判定会議がおくれたために繰り越しとなったものです。

続きまして、15節の工事請負費5,530万2,030円でございますが、主なものはトイレの改修工事、7校行いまして約3,340万円ほど支出しております。

次に、17節公有財産購入費でございますが、4,821万4,230円、これにつきましては、宍戸小学校の南側の用地を、旧友部町の時代から校庭が狭いということで用地の交渉をしていて、1カ所まとまったということで、2,010平米を購入したものです。

続きまして、101ページをお開きいただきたいと思えます。

一番上の18節備品購入費ですが、1,482万963円。これにつきましては、各学校の学習机やいす、楽器等でございます。

19節負担金補助及び交付金の443万9,365円につきましては、スポーツ振興センターへの災害保険の負担金が主なものでございます。

続きまして、2目の教育振興費でございますが、教育助成費や要・準要保護費、またはいろいろな教材費等の購入に使われるものでございまして、1億544万9,853円ござい

ます。

主なものといたしまして、14節使用料及び賃借料でございますが、3,400万2,800円、これはパソコン教室用のパソコンの借上料、各学校、14校の借上料等でございます。

18節備品購入費1,971万6,275円ですが、これは各学校の教材費、また学校用図書、楽器等を購入したものです。

19節の負担金補助及び交付金590万4,977円でございますが、これにつきましては全国や関東大会の出場補助金ということで、主に友部小学校のマーチングバンドが大きくなってございます。あと遠距離通学への補助金ということで、3キロ以上のバス代を補助したり、また自転車購入の補助をしております。

20節の扶助費でございますが、1,739万297円、これにつきましては要保護、準要保護児童の学用品や給食費などの扶助でございます。

続きまして、3項中学校費、1目学校管理費でございますが、2億2,325万6,093円の支出でございます。

主なものといたしまして、13節委託料1,869万6,784円でございますが、健康診断や、友部中学校、岩間中学校の体育館の耐震診断、また特殊建物等の定期検査の委託料でございます。

14節使用料及び賃借料1,113万9,998円でございますが、中学校の教師用のパソコンの使用料、また東中、稲田中、南中の土地の賃借料も、学校敷地であります。

15節の工事請負費でございますが、822万6,750円、これにつきましては友部二中のトイレの改修工事、また稲田中の教室のドアとかトイレブースの交換等でございます。

17節公有財産購入費264万円でございますが、これは、稲田中学校の斜面が民地と市有地と国有地と筆界未定になっていたのが、今度確定したため、関東財務局から購入したもので、1,124平米でございます。

続きまして、103ページお願いいたします。

18節の備品購入費でございますが、1,705万9,122円、これはA E D、各学校に1校1台ということで7台入っています。また、学習機やいすが主なものでございまして、ほかに学校給食のガスの回転がまやフリーザー等を購入しております。

19節負担金補助及び交付金232万65円でございますが、これはスポーツ振興センターへの災害の補償、傷害の負担金でございます。

2目の教育振興費でございますが、7,340万4,860円を支出しております。

この主なものといたしまして、14の使用料及び賃借料の2,341万860円につきましては、パソコン教室用のリース料でございます。

18節備品購入費につきましては、698万5,971円、これは学校図書や楽器等でございます。

19節負担金補助及び交付金の658万5,383円でございますが、全国、関東大会への出場補助金、また通学用ヘルメットの補助金等がございます。

続きまして、20節の扶助費でございますが、2,093万2,530円、これにつきましては小学校費と同じように給食費や学用品等の扶助でございます。

続きまして、3目学校建設費4億3,971万5,000円の支出でございます。

13節の委託料でございますが、4,541万2,000円。この中に451万6,000円の繰越明許費がございますが、これにつきましては友部中学校と岩間中学校の体育館の耐震診断の実施設計が、やはり判定会議がおくれたということで繰り越しになっております。

委託料ですが、主なものにつきまして説明申し上げます。岩間中学校の校舎の実施設計委託がございまして、それが約2,824万5,000円です。そのほか友部中学校の大規模改造の監理委託ということで556万円、18年度からの繰越分で、岩間中学校の建築の基本設計委託が682万5,000円ここに含まれております。

15節の工事請負費でございますが、3億9,405万4,500円、これにつきましては友部中学校の校舎の建築工事約3億6,300万円、同校の仮設校舎の工事で15万円、あと解体工事で2,884万円ほど入っております。

続きまして、4項の幼稚園費、1目幼稚園費でございますが、笠間、稲田両幼稚園の運営費等ございまして、1億6,798万6,167円でございます。

主なものといたしまして、使用料及び賃借料でございますが、103万7,250円、これにつきましては笠間幼稚園の駐車場の使用料87万円ほどが主なものでございます。

15節の工事請負費でございますが、304万5,000円につきましては、笠間、稲田両幼稚園のクーラー、空調設備の工事費でございます。

続きまして、105ページ、106ページをお開きいただきたいと思います。

18節の備品購入費でございますが、154万1,500円につきましては、印刷機購入やテレビ、またヒーター等の購入でございます。

19節負担金補助及び交付金7,871万4,525円につきましては、私立幼稚園への就園奨励補助金が7,125万円、私立幼稚園の運営補助として317万円ほど、あと私立幼稚園特別支援事業補助金ということで411万円ほど支出しております。

続きまして、111ページをお開きいただきたいと思います。

保健体育費の3目給食センター費でございます。3億8,116万366円の支出でございます。笠間、岩間両給食センターの経費ございまして、主なものといたしまして、7節の賃金でございますが、2,555万8,480円、これにつきましては調理員の臨時職員分の賃金でございます。

11節の需用費2億1,002万5,736円ありますが、その主なものは、食材費と光熱水費、また燃料費等でございます。

13節の委託料でございますが、2,211万9,447円につきましては、主なものは給食の配送業務の委託ということで、笠間、岩間両地区で配送業務を委託しているものですから、それが主な支出でございます。

15節の工事請負費159万1,170円でございますが、笠間給食センターの調理機器の修繕工事や、またパッケージ型の消火設備を備えたということが主なものでございます。

また、18節備品購入費59万2,263円でございますが、食器、食缶という大きい調理用の備品を買ったものでございます。

以上、学務課所管の歳入歳出の説明を終わりにいたします。

海老澤委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

鈴木（裕）委員。

鈴木裕士委員 決算書の100ページ、真ん中辺の25節の積立金、先ほどの説明では、大原小の寄附金、これを積立金に繰り入れたという説明がありました。この500万円の寄附金について、いつごろ何に使う予定でいるのか、これが一つです。

それから、成果表で、各小学校、中学校いろいろな修繕、整備を行ったように書いてあります。それで、それぞれの学校からたくさんの要望があったかと思えますけれども、その要望に対して実現度合いというのはどういう状態か。いわゆる件数で、たくさん要望があったかと思えます。その中で要望に応じられた割合、これは件数的にはどういったものなのか。

それから、給食センター関係で、岩間地区と笠間地区、同じセンター方式とっていますけれども、成果表を見ますと、生徒の負担額が違っております。例えば笠間ですと小学生3,800円に対して岩間では4,100円、この違いはどこからくるものなのか。いつごろ統一する予定でいるのか。

以上の点について説明をお願いします。

海老澤委員長 課長、答弁。

大和田学務課長 まず、積立金でございますが、大原小学校500万円につきましては、図書購入費ということで指定がございます。学校図書に使っていただきたいということでございまして、それは何年かに分けて使っていきたいと思えます。

あと修繕費のそれぞれの学校の要望に対しての達成率でございますが、これにつきましては、件数的には、大体、予算関係もございまして、半分程度かなと思っております。

あと岩間、笠間給食センターの生徒の負担の違いでございますけれども、これにつきましては、旧市町からやってきたものでございまして、メニューとか何かによってもまた違ってきます。ですから、統一がいいのかどうかも含めて、また友部地区の自校方式もございまして、そのあたりを含めて、今後統一できるかどうかなどについて検討していきたいと考えております。

以上です。

海老澤委員長 鈴木（裕）委員、いいですか。

鈴木裕士委員 はい。

海老澤委員長 ほかにありませんか。

石田委員。

石田安夫委員 112ページの給食センターの委託料なのですが、笠間市は、配送関係では、多分1年しか契約していないような気がするんですけども、この契約というか、なかなか決まらなかった経過がありますよね。ことしはどういうふうにしていくのか。

要するに、前倒しで契約をして、来年の4月からですか、僕はやった方がいいと思うんですよね。4月前にやって、決められないというような状態であったらまた困るわけですから、この辺どんなふう考えているのか。

海老澤委員長 担当課長。

大和田学務課長 確かに、配送業務につきまして、平成20年度は、19年度の中で債務負担行為を行って、5年ということで予算を計上したわけですが、入札を行った結果落札ができなかった。それで契約できなかったということで、急速1年にしましたが、21年度については20年度に債務負担行為をとりまして、5年程度の長期の契約でやっていきたいと考えております。

海老澤委員長 石田委員。

石田安夫委員 要するに、前倒しということは、去年も、何月ですか、契約というか、やった時期は。3月、2月……そうすると、業者の方は、その車をつくってやらなくちゃならないわけですね。ある程度の時間があれば、その形ができると。ところが、1カ月、2カ月でこういう形にしてくれといっても、普通の業者はなかなかできないわけですよ。その辺を考えて、できれば前倒しでことし中に契約できるような形にした方がいいんじゃないか。要するに4月までの時間があるわけだから、その間に業者だっているいろいろな車の都合ができるわけだから、その辺もちょっと考えてもらいたいなと思うんですが、その辺どうですか。

海老澤委員長 担当課長、答弁。

大和田学務課長 確かにおっしゃられるとおり、車を改造するにしても、約一月ぐらいはかかるという話は伺っています。ですから、今回5年ということで、10月の議会に債務負担行為の承認を得たいと思います。

海老澤委員長 石田委員、よろしいですか。

大和田学務課長 失礼しました。今、10月と言いましたが、12月の議会です。

海老澤委員長 質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 質疑を終わります。

ここで暫時休憩いたします。大変ご苦労さまでした。

午前10時29分休憩

午前10時31分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、公民館図書館を含む生涯学習課所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。歳入、歳出決算と続けて説明を願います。

初めに、生涯学習課長小坂 浩君。

小坂生涯学習課長 生涯学習課所管分の19年度の決算の説明を行いたいと思います。

まず、歳入の部で、29ページをお開きください。

一番下段の16款財産収入、1目財産運用収入、2目利子及び配当金でございますが、この中に、生涯学習課分、文化財保護、生涯学習振興、体育文化施設建設基金の利子が6万7,191円含まれております。

続きまして、30ページ、3番目の社会教育費補助金、この中に放課後子ども教室の補助金と青少年相談員の報酬の補助金、それぞれ96万5,000円と18万円が含まれております。

続きまして、ページをお開きいただきまして、36ページをお願いいたします。

基金のうち、基金繰入金の11目の体育文化施設建設基金繰入金1,198万円を繰り入れております。これにつきましては体育施設の方の整備に充てておりますので、内容はスポーツ振興課の方でお願いしたいと思います。

続きまして、39ページでございます。

諸収入の雑入、4目の雑入の中に、生涯学習課分、各事業の参加料、それから子ども陶芸展の参加料等682万2,900円が含まれております。

続きまして、歳出の方に移らせていただきます。

まず、105ページ、教育費の社会教育費、社会教育総務費でございます。この中に、各委員会の運営、放課後子ども教室、子ども陶芸展、家庭教育学級、市史編さん事業、クールシュヴェール等の事業が含まれております。

1節報酬については、社会教育指導員、市史編さん専門員等の報酬が含まれております。11節需用費についてですが、この中には、花いっぱい運動を推進する花の苗が71万4,000円ほど含まれております。

12節役務費については、放課後子ども教室のスタッフ、児童の損害保険金となっております。

13委託料については、子ども陶芸展、それから大原小学校学校開放の委託料が含まれております。

14節使用料につきましては、東京電力で主催していただきます幼児向けのお話しキャラバン隊の送迎バスの借上料でございます。

18の備品につきましては、放課後子ども教室の暖房、机、いす等で支出しております。

19節負担金補助及び交付金、積立金については、社会教育主事の派遣、子ども陶芸展、国民文化祭、クールシュヴェールの補助金等に充ててございます。

25節積立金につきましては、先ほど基金の説明をしましたが、これらの利子の6万1,256円、これは体育文化施設と生涯学習の二つの基金の利子でございます。

続きまして、107ページ、108ページに移らせていただきます。

4目の歴史民俗資料館費でございますが、これは旧友部町にございます民俗資料館の運営費でございます。主にはシルバーの委託料188万8,252円、それと去年は市道の工事に伴いましてフェンスの移転を行いましたので、この工事費が201万2,850円支出してございます。

5目研修所費でございます。これは旧岩間の第一分校の運営でございます。主に、武蔵野美術大学の学生が夏と春に図工教室等、地元と都会の方の交流の事業を推進していただいておりますので、この施設を活用していただいております。内容については、管理人を置いてございますので、管理費60万円と、また光熱水費とか、そういった部分で運営してございます。

続きまして、109ページ、6目青少年育成費でございます。この中には、青少年育成市民会議、青少年相談員、子ども会事業、成人式、生涯学習のまちづくり等の事業を含んでおります。

110ページの歳出の主なものですが、報償費147万3,845円とあるんですが、これはほとんど成人式の記念品、写真代で123万円ほど支出してございます。その他、主なものとしては、補助金負担金が105万8,300円支出してあるんですが、この中身は、子ども会育成連合会への55万2,000円、それから生涯学習補助金として23万7,800円、青少年育成会議、これは岩間地区と笠間地区にあるんですが、それぞれ40万5,000円と4万1,000円支出してございます。

最後の項目、7目文化財保護費でございますが、これは市内にございます文化財の保護管理に充てるものですが、需用費として88万6,689円、これは昨年合併して初めて笠間市の文化財というものを冊子にしまして、皆さんにもお配りしてあるんですが、こういうものを発行しましたので、この支出が46万9,875円になってございます。

使用料及び賃借料については、121万8,000円、これは埋蔵文化財の試掘、去年は13件ほど出ましたので、こちらに支出しております。

それから、工事請負費の38万8,500円については、文化財の説明板として2基ほどつけてございます。

19節の負担金補助及び交付金ですが、780万8,301円支出してございますが、これは国指定、市指定の文化財について市の負担分を支出したものでございます。

以上、主な内容説明を終わります。

海老澤委員長 次に、笠間公民館長郡司 弘君、説明願います。

郡司笠間公民館長 それでは、公民館分でございますが、歳入の方、21ページをお開きになっていただきたいと思います。

6目教育使用料の中で、22ページの方の2節社会教育使用料227万1,040円ということで収入があるわけですが、この中で公民館分として、施設の使用料ということで218万9,613円が含まれているということでございます。

続きまして、39ページをお開きになっていただきたいと思います。

下の方の4目雑入でございますが、40ページの2節の雑入、この中に公民館分として、市民芸術鑑賞事業の入場料、各種講座参加者負担金、コピー代、花輪ポスターなど278万5,072円が含まれております。収入があったということでございます。未済額はございませんでした。

歳入の方は以上です。

続きまして、歳出の方でございますが、105ページをお開きになっていただきたいと思います。

当初予算額が1億1,097万円ということで、補正が671万5,000円の減、これにつきましては年度末に明確になっている各節ごとの差金を補正したものでございます。合計が1億425万5,000円ということで、支出済額が9,954万1,738円ということでございます。不用額が471万3,262円ということでございます。これにつきましては、支出を抑えた中で事業を行った差金ということでございます。

この中で、報償費332万7,332円ということで、これにつきましては全部で公民館43講座ございまして、その中の講師謝礼ということでございます。

その下の11の需用費でございますが、消耗的なものは印刷代とかコピー用紙、蛍光管、あと公民館の事業用の消耗品、そういうものです。燃料については、灯油、ガス、そういったものでございます。食糧費については、公民館の茶葉代ということです。光熱水費関係は公民館の電気料、水道料、修繕につきましては大ホールのスピーカーの修繕とか、大きいものは、あと地区公民館の修理修繕ということで、合計が3,483万2,095円支出したわけでございます。

12節の役務費でございますが、これにつきましては通信運搬費、それと映画会とか幼児の演劇鑑賞会という手数料関係とか、あと地区館の浄化槽のくみ取り手数料、機器類の点検手数料ということで307万8,618円支出しました。

それと、13の委託料でございますが、委託料につきましては、施設の保守、いろいろ施設の保守ございまして、電気、消防、空調、大ホールの照明とか、清掃、特殊建築物の報告業務委託料、そういったものを含めた中で1,826万3,988円支出したものでございます。

14節の使用料及び賃借料でございますが、これにつきましては、公民館事業の移動学習時のバスの借上料とか、複写機リース料、あと清掃用具の使用料等々でございます。168万7,628円ということで支出しました。

15節の工事請負費でございますが、笠間公民館の方では、浄化槽が古くなったということで浄化槽の撤去を行いました。それに伴った下水道の接続工事ということ、それと、ト

イレベピーベッド取り付け工事、友部公民館では大ホール及び体育施設の音響設備の改修工事、スロープ工事、あとは湯沸器の工事、合わせて1,463万5,215円支出したものでございます。

次のページをお開きになっていただきたいと思えます。

108ページの一番上なんです、16節の原材料費です。これが13万2,621円支出をしておりますが、これにつきましては公民館講座用の材料費ということです。

18節の備品購入費ですが、主なものとしまして自動体外式除細動器、A E Dですね。こういうものを3館で購入したということ、それと公民館講座用のパソコン代、これが63台、各公民館21台ずつということで、これが1,092万円ほどかかっています。そのほか多目的パネル、あと会議用の机、いす、シュレッダー等でございます。合計1,399万147円ということで支出しております。

19節の負担金補助及び交付金でございますが、負担金については、例年と同じ県の公民館連絡協議会とか、防火管理協会、私学振興会、あと講習会の負担金ということで、これが8万7,000円くらい出ております。補助金につきましては、岩間地区公民館連絡協議会、笠間地区公民館連絡協議会、あと笠間市文化祭、市民展覧会、そういう実行委員会の方にも補助金として出ております。あと笠間市文化連盟の補助金ということで、合わせて547万円、合計で555万7,600円支出したということでございます。

公民館の方は以上でございます。よろしくご承認くださるようお願いいたします。

海老澤委員長 ご苦労さまです。

次に、笠間図書館長綿引孝一君。

綿引笠間図書館長 それでは、3目の図書館費についてご説明申し上げます。

初めに、歳入についてご説明させていただきますので、21ページをお開き願います。

2節の社会教育使用料、収入済額が227万1,040円とありますが、このうち8万1,427円が笠間図書館のジュース等の自動販売機の設置手数料でございます。

次に、39ページをお開き願います。

4目の雑入でございますが、収入額のうちの25万5,622円が、コピー使用料等の図書館費の収入となっております。

次に、歳出についてご説明させていただきますので、107ページをお開き願います。

図書館費、3館の決算額でございますけれども、補正後の予算額1億7,547万4,000円に対しまして、支出済額が1億7,267万1,614円となりました。

主な内容で説明させていただきますが、7節の賃金でございますが、通勤手当を含む臨時職員の賃金でございます。支出済額が3,660万3,400円となっております。

次に、11節の需用費でございますが、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕料等でございますが、支出済額が3,849万7,390円となりました。

次に、13節の委託料でございますけれども、主なものでは、図書館のシステム、空調設

備機器等の保守点検、清掃委託等々でございます。支出額が1,908万5,853円となりました。

14節の使用料及び賃借料でございますが、内容は、コピー機、図書館の資料情報管理システム、図書資料の検索システムのリース料等、それから友部図書館の土地賃借料、これが主なものでございます。支出済額が1,848万4,070円となっております。

次に、18節の備品購入費ですが、支出済額が5,220万6,740円となりました。内容についてご説明申し上げますので、成果報告書の方をごらんいただきたいんですが、184ページをごらんいただきたいと思えます。

初めに、友部図書館の資料購入費でございますが、内容につきましては、記載のとおりでございます。所蔵の合計につきましては、1番から3番まで含めると、友部図書館では19万8,330点となるわけなんです、3館合計では37万点という所蔵となっております。

続いて、186ページをお開き願います。

数字の違いはございますけれども、3館とも同じような内容になっておりますので、3館の説明を含めて報告をさせていただきます。

1番に記載の開館日数でございますけれども、年に1回実施します蔵書の点検日数ですね。これにより各館相違がありますので、友部につきましては289日ということでございます。入館者数につきましては、3館合計で45万2,000人、前年度比較しますと約3万6,000人増となっております。

3番の利用登録者数でございますけれども、3館合計で申し上げますと、4万7,000人という状況でございます。

4番の利用貸出数でございますけれども、3館合計で107万2,571点となりまして、これまで目標に掲げておりました貸出数100万冊というものを達成しまして、この内容については、市報の5月号の図書館だよりにも掲載させていただきました。

次に、岩間図書館についてご説明させていただきますので、188ページをごらんいただきます。

標準的な事業の中でございますけれども、資料購入費につきましては、図書資料のほか雑誌書架を購入しております。また、所蔵数についてでございますが、現在1万5,628点と報告させていただきますが、移転後の開館時には約5万点の所蔵を予定しております。

次に、臨時的な事業の中では、移転準備事業の内容でございますけれども、賃金については、資料装備、整理等にかかわる臨時雇いの賃金でございます。

需用費につきましては、ICタグの購入、それから資料保護のための装備にかかわる消耗品でございます。印刷製本費につきましては、返却シール、バーコードラベル等の作成の費用となっております。

以上が図書館の内容でございます。よろしくお願い申し上げます。

海老澤委員長 生涯学習課、笠間公民館、そして笠間図書館、これを一括して説明が終

わかりました。

これより質疑に入ります。

鈴木（裕）委員。

鈴木裕士委員 決算書の108ページ、上から2行目に18節の備品購入費があります。これについて、先ほどの説明は、A E D、P C 63台購入という説明がありました。

質問の一つは、中学校、小学校でもほとんど全部リースにしているんですけども、なぜリースにしなかったのか。それと、金額は幾らなのか。買ったのはパソコンの本体だけなのか。ほかに買ったものがあればどうなのか。

まず、その点について回答をお願いします。

海老澤委員長 郡司課長。

郡司笠間公民館長 係長の方から補足説明します。

細谷笠間公民館係長 まず、パソコンについてなんですが、購入の前に、レンタルするのと購入との比較をさせていただきまして、5年間のリース料と比べて、それ以上に購入の方が安いということで、情報政策課等の意見もいただきまして購入にしております。

パソコンのほかに買ったのは、プリンターやネットワークにつながる線だけです。基本的にはパソコンのみという考えです。金額は1,192万円、63台プラス工事費等合わせてそういう金額になっております。

海老澤委員長 鈴木（裕）委員。

鈴木裕士委員 プリンター何台買ったかわかりませんが、成果報告書を見ますと、185ページ真ん中辺に、63台のパソコンを購入したと。ここに「請負金額」とありますが、この請負というのは間違いかと思えます。1,092万円という金額が書いてあります。この1,092万円というのは、パソコン本体だけという感じになるのか。

それと、プリンターについては、何台買って、プリンター部分の金額は幾らになるのか、この点について回答をお願いします。

海老澤委員長 郡司課長、だれが答弁する人が、名前を教えてください。

郡司笠間公民館長 笠間公民館の細谷係長の方で回答いたします。

細谷笠間公民館係長 プリンターについては6台購入しております。各公民館に2台ずつ入っております。1台については約6万円程度だったと思うんですが、詳しい金額は今ここではないんですが、その金額については1,092万円の中に含まれております。

以上です。

海老澤委員長 課長、ここでは金額は言えないって、前もって連絡しておくんですから、それ明確にした方がいいよ。お答えをしてやった方が、鈴木（裕）委員に。

鈴木（裕）委員。

鈴木裕士委員 問題は、この成果表にある1,092万円、これは63台のパソコンだけの金額かと思うんですけども、1台当たり17万円しているんですね。

確かに、その辺の店で我々が行って買えば17万円というのは当たり前の金額かも知れない。ただ、63台を購入して17万円というのは非常に高い。これ何社ぐらい見積もりやっただんですか。

それと、そのほかの入札状況、もしわかれば教えてください。

海老澤委員長 郡司課長。

郡司笠間公民館長 細谷係長の方で説明させていただきます。

細谷笠間公民館係長 入札については6社でしております。

海老澤委員長 鈴木(裕)委員、よろしいですか。

鈴木裕士委員 さっきの回答が.....。

細谷笠間公民館係長 このパソコンについては、パソコン本体だけじゃなくて、パソコンのLANとか配線関係、そういうものを全部含めた中の金額でございますので、こういう金額になったということでございますので、よろしくお願いたしたいと思います。

海老澤委員長 鈴木(裕)委員。

鈴木裕士委員 さっきの説明では、6台のプリンターとパソコン含めて1,192万円という説明でしたね。なおかつプリンター1台6万円でしょう。6台買ったら36万円ですよね。1,192万円から36万円引いたって、あと1,100万円のお金が余る。そうすると、パソコンの購入が1,092万円ですから、そのLANの金額などというのは微々たるものでしょうよ。これは当たり前の技術があれば、素人でもできる配線というか、ケーブルの仕方ですよね。それなのにこれだけの金額というのはちょっと解せない。余りにも高過ぎて、むだ遣いというか、確かに場所は3カ所に分かれていますよ。世間のよその業者もそれ以上に高かったんでしょけども。

海老澤委員長 課長。

郡司笠間公民館長 一番新しい機種でピスタの機種なんですけど、6社入札して、一番安かったところということで指名したわけなんですけど、それで購入したということで、指名委員会等もかけていますので、そのような形で配線も含めた中の購入ということでご了解願いたいと思うのですが。

海老澤委員長 鈴木(裕)委員、いいですか。

鈴木裕士委員 はい。

海老澤委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 質疑を終わります。

ここで暫時休憩いたします。

なお、11時15分に再開いたします。ご苦労さまでした。

午前11時02分休憩

午前 11 時 14 分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、スポーツ振興課所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

歳入、歳出決算と続けて説明を願います。

スポーツ振興課長松江和男君。

松江スポーツ振興課長 それでは、スポーツ振興課所管の19年度歳入歳出の決算についてご説明いたします。

初めに、歳入についてご説明いたします。

決算書21ページから22ページになります。

13款の使用料及び手数料、1項の使用料、6目の教育使用料、3節の保健体育使用料でございます。収入済額が453万275円、未済額はゼロ円でございます。内容は、市民体育館の使用料ほか3件、海洋センター関係、総合公園の市民球場、サッカー場、テニスコート関係の使用料でございます。

次に、決算書39ページから40ページお願いいたします。

20款の諸収入、5項の雑入、4目の雑入、2節の雑入でございます。収入済額が4億886万9,154円のうち、スポーツ振興課分は581万3,700円でございます。未済額はゼロ円でございます。内訳につきましては、ソフトバレーボール大会、中学校駅伝大会、各種教室を開催しまして、水泳教室等の参加料、また全国高等学校アームレスリング大会……、スポーツ拠点づくりの推進事業の助成金として500万円を収入いたしました。

続きまして、歳出に入ります。

決算書109ページから110ページをお開き願います。

スポーツ振興課に伴う事業費でございます。9款の教育費、6項の保健体育費、1目の保健体育総務費でございます。人件費は省略させていただきます。

主なものについて説明いたします。

1節の報酬、支出済額が240万3,000円、これはスポーツ振興審議会委員10名、体育指導員42名の報酬でございます。なお、体育指導員の支払い不足につきまして42万7,500円を予備費より充当いたしました。

8節の報償費、支出済額が227万2,351円、これはソフトバレーボール大会、中学校駅伝大会等の賞品、また全国大会、関東大会等出場に伴う奨励金でございます。ちなみに、昨年は全国大会、関東大会31件、85万円を支出いたしました。

次に、決算書111ページから112ページになります。

19節の負担金補助及び交付金でございます。支出済額が1,334万2,800円、負担金が6件、補助金が4件でございます。主なものにつきましては、スポーツ少年団の補助金221万4,000円のほか、全国高校アームレスリング大会補助金、体育協会補助金、市民マラソン大会の補助金等でございます。

次に、同じく決算書111ページから112ページになります。

2目の体育施設費でございます。運動公園体育館、海洋センター等の各スポーツ施設の維持管理費でございます。

主なものについてご説明いたします。

需用費が、支出済額が2,203万8,756円でございます。主なものは、光熱水費の1,409万2,346円でございます。これは各施設の電気代、水道代、体育館等の下水料等でございます。

次に、13節の委託料でございます。支出済額が4,092万3,510円、これにつきましては総合公園、市民体育館、海洋センター等草刈り、土日の夜間等の管理、運営等でございます。

次に、14節の使用料及び賃借料でございます。支出済額が1,541万4,621円、これは土地の借地料でございます。主なものは、岩間の海洋センターの敷地818万1,842円のほか、柿橋グラウンドの駐車場、テニスコート、大原グラウンド、橋爪グラウンド等でございます。

次に、15節の工事請負費でございます。支出済額が2,864万4,178円、主なものにつきましては、市民球場の目隠しフェンス設置工事ほか5件、市民球場の防球ネット、海洋センター関係の体育館の内壁の改修工事、柿橋グラウンドの防球ネット工事等を行いました。

以上でございます。よろしくご審議を賜りますようお願いいたします。

海老澤委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

西山委員。

西山 猛委員 先ほど最後に説明がありました、112ページの使用料及び賃借料の件なのですが、もう一度確認したいんですが、岩間海洋センターの賃借料の内容をちょっと詳しくお聞かせ願いたいんですが。

海老澤委員長 担当課長。

松江スポーツ振興課長 海洋センター分は818万1,842円でございます。

海老澤委員長 西山委員。

西山 猛委員 詳細、要するに何平米あって、いつから借りてどうでという。

〔「地権者が何人とか」と呼ぶ者あり〕

西山 猛委員 そうそう。

海老澤委員長 スポーツ振興課長。

松江スポーツ振興課長 地権者は3人でございます。それで、5年契約で契約しております。

海老澤委員長 西山委員。

西山 猛委員 何回も質問したくないんですよ。1回で言ってください。大きさがどうか、いつから借りているんだと、これを言ってくれと。

海老澤委員長 担当課長。

松江スポーツ振興課長 ただいま資料ありませんので、後で届けるということで。

海老澤委員長 暫時休憩いたします。

午前 11 時 22 分休憩

午前 11 時 24 分再開

海老澤委員長 再開いたします。

部長、西山委員さんに答弁してください。

加藤教育次長 大変失礼しました。相続権のある方は、配偶者の連れ合い、奥さんと、あと娘さんが3人おります。あと息子さん、というのは長女の方の旦那さん、その方が養子縁組をしておりますので相続権が発生しましたので、5名の方にその相続権に応じて契約をしてお支払いをしているということです。

海老澤委員長 西山委員。

西山 猛委員 通常、これは公の施設、敷地を契約するのに、持ち分の契約というのはいり得るんですか。

海老澤委員長 課長、答弁。

次長でもどっちでもいいけれども。

加藤教育次長 では、私の方から。

その件につきましては、私たちもよくそういう関係がわかりませんでしたので、水戸の方の、ちょっと私聞いてないんですが、法務局かそちらの方に相談をして、そちらの方で指導を受けてやったということです。

海老澤委員長 西山委員。

西山 猛委員 例えば事例を出しますが、共有財産になってしまっている、持ち分で。共有財産になっているところを道路が走りました。でも、それは持ち分で支払いはしないはずですよ、買い上げのとき。しないはずですよ。そうすると、当然、賃借権が発生しているんでしょうけれども、その賃借の契約というのは、前契約が破棄されるのか、それとも継承されてそのままそれに対する同じ金を払わなくちゃならない、ただ払い方が払う先がばらばらという、それだけなんですか。

要するに、仕切り直しがあったのかないのか。

海老澤委員長 次長。

加藤教育次長 市側としては、相続関係の代表者を設定していただいて、その方にお支払いをしたいとお話をしたんですが、その相続権のある方が、それぞれに支払ってほしいというようなことで、そういう環境になったということでございます。

西山 猛委員 仕切り直しはしないんだ……。

加藤教育次長 いや、持ち分に応じてです。総額は同じになります。

海老澤委員長 西山委員さん、今の答え、調べているから、もう3回やりましたので、

ここで質疑を打ち切ります。

ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 なければ、質疑を終わります。

以上で、教育委員会関係各課の一般会計歳入歳出決算の審査を終わります。大変ご苦労さまでございました。

ここで暫時休憩いたします。

午前 11 時 28 分休憩

午前 11 時 30 分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、都市建設部都市建設課所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

歳入、歳出決算と続けて説明をお願いいたします。

都市建設課長大石直人君。

大石都市建設課長 それでは、都市建設課分のご説明をさせていただきます。

決算書の25ページをお開きいただきたいと思います。

主要施策の成果報告書は42ページ、43ページでございます。

歳入でございます。

14款、2項、4目土木費国庫補助の1節道路橋りょう費補助金でございます。収入済額6億8,312万9,000円のうち、都市建設課分は4億3,766万9,000円でございます。

主な路線等につきましては、主要施策の成果報告書の方をごらんいただきたいと思います。

その下、2節都市計画費補助金5億1,650万円でございます。このうち、まちづくり交付金事業分でございますが、都市建設課の友部駅周辺整備事業といたしまして2億円、岩間駅周辺整備事業といたしまして3億1,400万円でございます。

27ページ、28ページをごらんいただきたいと思います。

主要施策の方は52ページ、53ページでございます。

15款、2項、6目土木費県補助金でございます。下の方になります。1節道路橋りょう費補助金でございます。収入済額933万5,000円のうち、都市建設課分につきましては110万4,000円でございます。合併市町村幹線道路支援事業費補助でございます。

29ページ、30ページをお開きいただきたいと思います。

主要施策は58ページ、59ページでございます。

一番下の方になります。16款、1項、2目の1節利子及び配当金でございます。1,510万2,208円のうち都市建設課分は208万4,807円でございます。友部駅橋上化及び自由通路整備基金の利息でございます。

33ページ、34ページをお開きいただきたいと思います。

主要施策につきましては62ページ、63ページでございます。

18款、2項、7目、1節友部駅橋上化及び自由通路整備基金繰入金でございます。すべて都市建設課分でございますして、3億6,612万2,000円でございます。

39ページ、40ページをお開きいただきたいと思います。

主要施策は76ページ、77ページでございます。

20款、5項、4目、2節雑入でございます。4億886万9,154円のうち都市建設課分は154万4,475円でございますして、友部駅自由通路における有料広告の収入でございます。

歳入につきましては以上でございます。

続きまして、歳出でございます。

83ページ、84ページをお願いいたします。

主要施策は146ページ、147ページでございます。

7款、1項、1目、19節負担金補助及び交付金、支出済額1,314万221円のうち、都市建設課分は340万800円でございます。各種協議会への負担金及び北関東自動車道開通記念イベントにおける実行委員会への負担金でございます。

続きまして、87ページ、88ページをお開きいただきたいと思います。

主要施策は154ページ、155ページになります。

7款、2項、5目市幹線道路整備費の13節委託料でございます。支出済額1億9,423万3,580円のうち、都市建設課分は5,372万2,000円でございます。1級12号線上町大沢線、南友部平町線等にかかわる委託料でございます。繰越明許につきましては、743万8,000円のうち537万6,000円が都市建設課分でございますして、県への委託、詳細設計の見直しによるものでございます。

17節公有財産購入費3億2,652万3,312円のうち、都市建設課分は5,846万8,540円でございます。1級12号線等の用地費でございます。繰越明許でございますが、1億9,763万3,000円のうち4,325万1,000円が都市建設課分でございますして、上町大沢線の物件移転の遅延によるものでございます。

22節補償・補填及び賠償金9,921万3,941円のうち、都市建設課分は489万9,650円でございます。1級12号上町大沢線でございますして、繰越明許1億373万6,000円のうち、251万3,000円が上町大沢線の物件移転の遅延によるものでございます。

その次の89ページ、90ページをお願いいたします。

主要施策は158ページ、159ページでございます。

7款、4項、1目都市計画総務費のうち、13節委託料でございます。7,109万2,975円のうち都市建設課分は806万5,577円でございますして、友部駅自由通路の管理事業でございます。

次、91ページ、92ページをお願いいたします。

主要施策は160ページ、161ページでございます。

7款、4項、6目友部駅周辺整備事業費につきましては、すべて都市建設課分でございます。

主なものとしたしまして、13節委託料でございます。1,070万7,067円は、測量設計、不動産鑑定等でございます。繰越明許814万8,000円でございますが、友部駅南口の広場の設計で、関係機関協議の遅延によるものでございます。

15節工事請負費4億6,020万6,740円でございます。駅前広場、駅北線、県道杉崎友部線の排水等にかかわる工事費でございます。繰越明許9,844万2,000円につきましては、地権者の物件移転の遅延によるものでございます。

17節公有財産購入費6,216万5,244円は、駅北線、県道杉崎友部線等の用地費でございます。繰越明許4,002万円につきましては、地権者の物件移転の遅延によるものでございます。

19節負担金補助及び交付金でございますが、3億8,426万4,854円、これは友部駅橋上駅舎の整備負担金でございまして、JRへの負担でございます。

最後になります。22節補償・補填及び賠償金1億6,389万4,199円につきましては、駅北線、杉崎友部線の補償費でございます。繰越明許1億2,866万1,000円につきましては、地権者の物件移転の遅延によるものでございます。

都市建設課分につきましては以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

海老澤委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 なければ、質疑を終わります。

ここで暫時休憩いたします。大変ご苦労さまでした。

午前11時41分休憩

午前11時42分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、道路整備課所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

歳入、歳出決算と続けて説明を願います。

道路整備課長伊勢山 正君。

伊勢山道路整備課長 伊勢山でございます。どうぞよろしく願います。

それでは、平成19年度笠間市一般会計道路整備課所管分の歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

初めに、歳入についてご説明を申し上げます。

決算書の17ページをお開きいただきたいと思います。

成果報告書につきましては28ページになります。

11款、1項、1目、1節交通安全対策特別交付金1,506万6,000円につきましては、茨城県より交付されます交通安全対策特別交付金でございます。

次に、決算書の19ページをお開き願います。

12款分担金及び負担金、1項、5目、1節道路橋りょう費負担金85万円でございます。これにつきましては、大古山橋かけかえに伴います橋梁添架原因者負担金でございます。成果報告書は32ページになります。

次に、13款使用料及び手数料、1項使用料、21ページをお開き願いまして、5目土木使用料、1節道路使用料1,397万8,300円につきましては、市道敷地及び法定外公共物、いわゆる農道等に設置してございます東電柱等の使用料でございます。

2節河川使用料6万3,060円につきましては、笠間市の片庭の岡本興業株式会社での河川使用料でございます。成果報告は同じく32ページになります。

続きまして、2項手数料、4目土木手数料、23ページをお開き願いまして、3節土木手数料99万4,700円、これにつきましては地籍調査の成果に関する図面等の写しに係る手数料交付金でございます。

続きまして、14款国庫支出金、2項国庫補助金、25ページをお開き願いまして、4目土木費国庫補助金、1節道路橋りょう費補助金6億8,312万9,000円で、そのうち道路整備課所管分につきましては、地方道路交付金事業で2億4,546万円でございます。詳細につきましては、成果報告書の43ページになります。

次に、15款県支出金、27ページをお開き願います。2項県補助金、6目土木費県補助金、1節道路橋りょう費補助金936万5,000円のうち、道路整備課分といたしまして823万1,000円でございます。成果報告書は52ページになります。

続きまして、39ページをお開き願います。

20款諸収入、4項、3目、1節土木受託事業収入123万9,558円につきましては、笠間・水戸環境組合からの道路改良事業収入でございます。成果報告書は68ページになります。

続きまして、歳出についてご説明を申し上げます。

決算書の83ページをお開きいただきたいと思います。

成果報告書は146ページになります。

7款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、19節負担金補助及び交付金1,314万221円のうち、道路整備課所管分の歳出につきましては1万9,500円でございます。

次に、7款、2項道路橋りょう費、1目道路橋りょう総務費の総支出額1億1,023万7,047円のうち、道路整備課所管分につきましては2,051万1,789円でございます。

事務的経費を除きます主なものにつきましては、12節役務費197万4,320円で、これにつきましては、市道管理延長1,448キロメートルの市道において発生した場合の事故に対応

するための損害賠償保険料でございます。

続きまして、13節委託料2,671万1,140円のうち道路整備課所管分につきましては1,320万2,890円で、その主なものにつきましては、上市原地内ほか8件の測量業務委託料411万6,000円、地籍修正図加除業務委託料515万5,500円、道路台帳更新業務委託料296万1,000円でございます。

14節使用料及び賃借料330万8,612円につきましては、市道1級15号線ほか5件の土地賃借料でございます。成果報告書は148ページから149ページになります。

続きまして、2目道路維持費、総支出額2億2,900万7,606円のうち、道路整備課所管分につきましては1億198万5,206円でございます。

事務的経費を除くその主なものにつきましては、15節工事請負費2億1,733万3,272円のうち、道路整備課所管分につきましては9,687万8,300円でございます。その内訳につきましては、道路舗装工事が13件で4,656万7,500円、排水整備工事が4件で746万5,500円、交通安全施設工事が8件で539万7,000円、道路維持工事が23件で2,973万750円、その他の工事といたしまして11件、65万7,550円でございます。また、そのほか繰越事業で1級1号線の舗装工事706万円でございます。

16節原材料534万722円のうち道路整備課が執行いたしました事業費は406万4,449円で、その主なものにつきましては、市道等の補修に伴う碎石、合材等でございます。成果報告書は148ページから151ページになりますので、ごらんいただきたいと思います。

次に、3目道路新設改良費の支出総額2億7,741万2,931円のうち、道路整備課執行額につきましては1億777万5,394円でございます。

事務的経費を除く主なものにつきましては、13節委託料3,515万5,090円、そのうち道路整備課執行分につきましては1,951万5,300円でございます。内訳につきましては、1級16号線及び4138号線の設計業務、1級7号線ほか10路線の測量業務、1級13号線及び1級6号線の補償調査委託料でございます。また、翌年度繰越額289万8,000円につきましては、市道の1062号線の設計業務及び1級12号線関係のイベント業務委託料でございます。

14節使用料及び賃借料189万円につきましては、積算システム使用料でございます。

15節工事請負費1億9,710万円のうち、道路整備課執行分につきましては6,367万8,500円でございます。その内訳につきましては、1級16号線ほか6件の道路改良工事でございます。また、翌年度繰越額となっております1,333万6,000円のうち、道路整備課執行分は619万4,000円でございます。その内訳といたしましては、市道の3122号線の道路改良工事で、年度内の工事完了が見込めないために繰り越したものでございます。

17節公有財産購入費2,739万1,001円のうち、道路整備課執行分につきましては1,409万3,929円でございます。これにつきましては、市道3022号線ほか7路線の改良工事等に伴う用地購入費でございます。また、翌年度繰越額となっております303万7,000円につきましては、3122号線ほか2路線で相続問題等で年度内に所有権移転登記が見込みめないた

めに繰り越しをしたものでございます。

22節補償・補填及び賠償金1,378万3,453円のうち、道路整備課執行額につきましては549万4,793円で、1級5号線ほか4路線の物件移転補償でございます。また、翌年度繰越額554万2,000円につきましては、柏井地区の排水整備ほか1路線の物件補償費が年度内に完了しないために繰り越しをしたものでございます。成果報告書は150ページから153ページになります。

続きまして、4目緊急地方道路整備費、成果報告書は152ページから153ページになります。支出済総額が2億8,631万2,281円のうち、道路整備課執行額は8,885万6,571円でございます。

87ページをごらんいただきまして、事務的経費を除く主なものにつきましては、13節委託料138万6,000円、これにつきましては、1級13号線で物件補償調査委託、それと不動産鑑定業務の委託料でございます。

15節工事請負費1億7,484万9,000円のうち、道路整備課執行分につきましては3,927万円でございます。これにつきましては、1級5号線の道路改良工事でございます。

17節公有財産購入費5,494万7,737円のうち道路整備課執行分につきましては2,490万6,603円で、これにつきましては1級13号線の用地購入費でございます。また、翌年度繰越額1,678万円につきましては、1級13号線の用地購入費でございます。

22節補償・補填及び賠償金2,801万3,341円のうち道路整備課執行分につきましては2,236万2,018円で、これにつきましては1級13号線の補償・補填及び賠償金でございます。また、翌年度繰越額8,409万8,000円につきましては、1級13号線の家屋移転等補償費でございます。

次に、5目市幹線道路整備費でございます。成果報告書は154ページから157ページになります。支出総額10億1,853万8,925円のうち、道路整備課執行分につきましては3億3,688万3,620円でございます。

事務的経費を除く主なものにつきましては、13節委託料1億9,423万3,580円のうち、道路整備課執行分は1,170万5,000円でございます。これにつきましては、市道1級12号線の大古山橋の設計委託、2級10号線の設計委託及び1級3号線の不動産鑑定委託料でございます。

15節工事請負費3億5,102万7,000円のうち道路整備課執行分につきましては2億1,581万9,000円で、内容につきましては1級12号線の大古山橋橋梁工事及びその前後の舗装工事費でございます。また、翌年度繰越額2億6,674万7,000円のうち、道路整備課分につきましては1級12号線の橋梁工事関係で1億933万5,000円でございます。

17節公有財産購入費3億2,652万3,312円のうち道路整備課執行分につきましては7,952万4,061円で、これにつきましては2級10号線の用地購入費でございます。また、翌年度繰越額1億9,763万3,000円のうち、道路整備課分につきましては5,770万2,000円ござい

ます。

22節補償・補填及び賠償金9,921万3,941円のうち道路整備課分につきましては2,743万1,002円で、1級3号線及び2級10号線の物件移転補償費でございます。また、翌年度繰越額1億373万6,000円のうち、道路整備課分につきましては、1級3号線及び2級10号線の家屋等の移転が年度内に完了できないことから、4,850万7,000円繰り越すものでございます。

道路整備課は以上でございます。よろしくご審議いただきたいと思っております。

海老澤委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

鈴木(裕)委員。

鈴木裕士委員 伊勢山課長よりも部長に質問したいんですけども、今、説明した項目とはちょっと離れるんですけども、例えば土木費の1項土木管理費、1目土木総務費とありますね。これについて、成果報告書146ページに記載があります。この成果報告書は、給料、職員手当、共済費こういったものは除いた金額が計算されていると思うんですけども、この成果報告書の事業費の欄、この金額を足したものと、決算書の先ほど言った人件費を除いて足したものの、これが大きく違うんですよ。言っていることわかりますか。

土木総務費の中で、成果報告書に事業費の金額が記載されていますね。次のページまで含めて5項目、この金額をちょっと足していただきたいんです。

それから、もう片方で、決算書の給料、職員手当、共済費、これを除いて、旅費、需用費、委託料、負担金補助金、これを足した金額、決算書の方は恐らく1,300万円超えるかと思います。一方で、成果報告書の方は1,200万円ぐらいかな。委託料を除いて、1,300万円と500万円違う、大きい違いがある。これはどこかの部分が漏れている。

それと逆に、別な項目で成果報告書の方の金額はるかに大きい、逆の現象も出ているんです。これが何に基づくものなのか、回答をお願いしたいんです。

海老澤委員長 担当課長。

伊勢山道路整備課長 最初に、今回の決算書と成果報告書、まず成果報告書につきましては、主要施策の成果報告書ということで、すべてが網羅されているわけではございません。

そうした中で、都市建設部5課でございます。その中で、私どもの道路整備課分につきましては、先ほどの土木費、土木管理費、土木総務費の中では総支出額が2億7,611万1,812円でございますが、その中で、道路整備課分は一番下の19節負担金補助及び交付金1,314万221円の中の1万9,500円が支出ということで、それが成果報告の146ページの一番上にごございます茨城県の建設管理連絡協議会負担金と用地対策連絡協議会負担金が、道路整備課分ということになってございます。

海老澤委員長 鈴木(裕)委員。

鈴木裕士委員 伊勢山課長にしているんじゃないんだ。部長にしているんだ。確かに、伊勢山課長だけとってみれば1万9,500円なんです。けども、この1目の土木総務費、この事業費をとって見たときに、成果報告書の負担金補助金、この額も……ですね。確かに、主要なものについて計算してある、それはわかるんですけども、漏れている金額が、つまり金額の相違が余りにも大きい。

伊勢山課長の言っていることわかります。わかるし、私は部長の方に聞いている。部全体としてのこの数字の把握といいますか……。

海老澤委員長 部長に聞くの。

鈴木裕士委員 部長が部全体を掌握しているわけだから。

〔「午後にしましょう」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 これで休憩いたします。

なお、午後1時より再開いたします。

午後零時03分休憩

午後零時58分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き再開いたします。

午前中に続き質疑を行います。

部長。

小松崎都市建設部長 午前中のご質問についてお答えさせていただきたいと思います。

まず、土木管理費の総務費の中の負担金補助及び交付金の額が主要施策報告書と差があるということでございます。これにつきましては、主要施策の方に記入しておりませんが、県への派遣職員の負担金が決算書の方に含まれているということでございます。

そのほか、鈴木（裕）委員から言われました、決算書と主要施策の報告書の方で、主要施策報告の方の額の方が人件費を除いて多い部分があるというようなお話をいただきましたけれども、これにつきましては、うちの方は国庫補助事業を多くやっている関係で、工事費あるいは委託料のほかに、人件費も補助事業に見られるというようなことがございます。そういうことで、この成果報告書の中には、一部その職員手当等々が含まれた額が成果の額というふうになっておりますので、金額が多くなっている部分があるということでございますので、ご理解をいただきたいと思います。

なお、この辺につきましては、委員さんのお話のように、数字の整合性というのが図られておりませんので、来年度に向けては、この辺の整理をきちんと人件費の部分を除いた額で主要施策の報告を出すか、その辺については来年度についてはきちんと整理をさせていただきたいと考えております。

本年度の数字の違いについては、そういった人件費が報告書の方に入っているということでございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上でございます。

海老澤委員長 鈴木（裕）委員。

鈴木裕士委員 違いというものについてはわかりました。ただ、土木関係だけじゃなく全般的に言えるから、よその部も関連したということで受けとめてもらいたいですけれども、事業費が少ないやつでも記載されている、あるいは事業金額が大きいやつで記載されていないという部分もある。いわゆるその掲載基準、これがまだ統一されていないという部分もありますので、やむを得ない部分あるかなと思うんですけれども、やはり部長として、その辺は全般的に見て、この記載内容がどうなのかという面は徹底していただきたいと思います。

海老澤委員長 以上で質疑を終わります。

ここで暫時休憩いたします。ご苦労さまでした。

午後 1 時 0 2 分休憩

午後 1 時 0 3 分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、笠間支所道路整備課所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

歳入、歳出決算と続けて説明をお願いします。

笠間支所道路整備課長竹川洋一君。

竹川笠間支所道路整備課長 それでは、笠間支所道路整備課の竹川でございます。よろしくお願いいいたします。

初めに、歳入からご説明を申し上げます。

決算書21ページ、成果報告書34ページをお開き願います。

13款使用料及び手数料、1項使用料、5目土木使用料、4節住宅使用料でございますが、現年度、また過年度を合わせまして7,368万3,320円を住宅使用料として収入しております。

次に、決算書39ページ、成果報告書76ページをお開き願います。

20款諸収入、5項雑入、4目雑入、2節雑入、決算書の収入済額4億886万9,154円のうち支所分498万7,570円でございます。これにつきましては、市営住宅の浄化槽等の納付金として収入をしております。

笠間支所の歳入につきましては以上でございます。

続きまして、笠間支所分の歳出についてご説明をいたします。

決算書の83ページ、また成果報告書146ページをお開き願います。

7款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、19節の負担金補助及び交付金でございますが、支出済額が1,314万221円に対しまして、支所分支出額が80万円でございます。これは茨城県が事業主体となります急傾斜地の崩壊対策事業の負担金でございます。

次に、同じく決算書83ページ、成果報告書148ページをお願いいたします。

7款土木費、2項道路橋りょう費、1目道路橋りょう総務費、支払額総額が1億1,023万7,047円のうち笠間支所分は1,530万2,642円でございます。

主な事業といたしましては、決算書の13節委託料でございますが、支出済額が2,671万1,140円のうち支所分857万3,250円でございます。これにつきましては、旧笠間地区全域の地籍修正図の測量業務、また道路台帳等の更新委託業務費でございます。

次に、決算書、15節工事請負費でございます。支出済額696万5,280円のうち450万8,280円が笠間支所分でございます。これにつきましては、交通安全施設等の事業でございます。カーブミラー等の設置工事を37件実施をしているところでございます。

続きまして、決算書85ページお願いいたします。また、成果報告書150ページをお開き願います。

7款土木費、2項道路橋りょう費、2目道路維持費でございますが、支出済額が2億2,900万7,607円のうち支所分は8,766万8,585円でございます。

主な内容といたしましては、決算書の15節でございますが、工事請負として支出済額が2億1,733万3,272円のうち支所分8,448万1,972円でございます。主な事業内容といたしましては、維持工事が38件、舗装工事が7件、排水整備工事が20件等でございます。

続きまして、同じく決算書85ページ、成果報告書の150ページ及び152ページをご参照願います。

7款土木費、2項道路橋りょう費、3目道路新設改良費でございます。支出済額が2億7,741万2,931円のうち1億2,187万650円でございます。

主な事業内容といたしましては、決算書、13節の委託料でございます。3,515万5,090円のうち支所分693万9,200円でございます。内容といたしましては、路線測量業務が2路線、また登記事務等でございます。

次に、15節工事請負費でございますが、支出済額1億9,710万円のうち1億14万9,000円でございます。内訳につきましては、コミュニティー道路荒町駅前線ほか5路線の整備事業を実施しているところでございます。

次に、決算書、17節公有財産購入費でございますが、支出済額が2,739万1,001円のうち支所分1,109万962円でございます。これにつきましては、飯田寄居線ほか1路線の道路改良に伴います用地買収費でございます。

続きまして、同じく決算書85ページ及び87ページ及び成果報告書152ページをご参照願います。

7款土木費、2項道路橋りょう費、4目緊急地方道路整備費、支出済額が2億8,631万2,281円のうち支所分が1億8,706万862円でございます。主な事業内容といたしましては、決算書、15節の工事請負費、支出済額が1億7,484万9,000円のうち支所分は3,003万6,000円でございます。これにつきましては、才木友部線の改良工事を実施したところでございます。また、明許繰越額の2,553万円につきましては、地元地権者との用地交渉

事に時間を要したため、年度内の工事が見込めないために翌年度へ繰越をしたものでございます。

続きまして、決算書、17節公有財産購入費、支出済額が5,494万7,737円のうち支所分は3,004万1,134円でございます。これにつきましても、才木友部線の道路改良に伴います用地費でございます。

次に、決算書、22節補償・補填及び賠償金でございます。支出済額が2,801万3,341円のうち支所分は565万1,323円でございます。これにつきましては、事業用地内の立ち木補償費、また東電柱の移転費用でございます。

続きまして、決算書87ページ、成果報告書154ページをお開き願います。

7款土木費、2項道路橋りょう費、5目市幹線道路整備費でございますが、支出済額が10億1,853万8,925円でございます。そのうち支所分は4億3,630万9,380円でございます。友部池野辺線ほか3路線の整備事業費でございます。

主な内容といたしましては、決算書の13節委託料でございますが、支出済額が1億9,423万3,580円のうち、友部池野辺線ほか2路線分の7,491万2,250円を支出しております。内容につきましては、用地測量等の調査費等でございます。

次に、15節工事請負費でございます。支出済額3億5,102万7,000円のうち支所分は2億1,094万5,000円でございます。内訳につきましては、笠間小原線及び大淵飯田線の2路線の改良工事を実施いたしました。また、翌年度繰越額になっております2億6,674万7,000円のうち支所分は1億3,713万円でございます。繰越につきましては、地権者との用地交渉事に時間を要したため翌年度へ繰越をするものでございます。

次に、決算書、17節公有財産購入費でございます。支出済額が3億2,652万3,312円のうち支所分は2,664万5,685円でございます。主に、大淵飯田線の道路改良に伴います用地費でございます。また、翌年度繰越額は17節の公有財産購入費でございます1億9,763万3,000円のうち支所分は5,847万2,000円でございます。これらにつきましても、用地測量等に時間を要したために翌年度へ繰越をするものでございます。

次に、決算書、22節補償・補填及び賠償金でございます。支出済額9,921万3,941円のうち支所分は3,937万6,714円でございます。これにつきましては、大淵飯田線の家屋の移転補償費でございます。また、繰越額の1億373万6,000円のうち支所分は1,628万8,000円でございます。これにつきましても、年度内の完了が見込めないために翌年度へ繰越をするものでございます。

続きまして、決算書同じく87ページ、成果報告書158ページをお願いいたします。

7款土木費、3項河川費、1目河川総務費の主な事業でございますが、決算書の15節の工事請負費でございます。支出済額が222万6,000円のうち支所分は99万7,500円でございます。これにつきましては、笠間市大郷戸地内の河川の維持工事を実施いたしました。

続きまして、決算書93ページ、成果報告書の162ページをお開き願います。

7款土木費、5項住宅費、1目住宅管理費、支出済額が1億4,704万7,264円でございます。

主な内容といたしましては、決算書、11節の需用費でございますが、支出済額が1,069万3,830円で、内訳としましては光熱費、電気料、また修繕料、住宅の修繕を154件ほど実施をしているところでございます。

次に、決算書、15節工事請負費でございますが、支出済額が949万7,250円でございます。主な内容といたしましては、住宅の塗装工事、また防水工事を実施をいたしました。

以上で、笠間支所の道路整備課所管の説明を終わりにします。よろしく願いいたします。

海老澤委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 質疑を終わります。

暫時休憩いたします。ご苦労さまでした。

午後1時15分休憩

午後1時16分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、岩間支所道路整備課所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

歳入、歳出決算と続けて説明を願います。

岩間支所道路整備課長飯田 満君。

飯田岩間支所道路整備課長 岩間支所道路整備課の飯田でございます。

岩間支所道路整備課所管の決算書の歳出について説明させていただきます。

決算書の83ページ、84ページをお開き願います。また、成果報告書の148ページ、149ページをお開き願います。

7款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費でございますが、支出済額2億7,611万1,812円のうち、岩間所管の支出は724万6,249円でございます。

主なものとしましては、13節委託料の718万8,000円でございます。これは繰越で実施しておりました安渡地区の地籍調査事業でございます。

次に、2項道路橋りょう費、1目道路橋りょう総務費でございますが、支出済額1億1,023万7,047円のうち、岩間所管の支出は768万8,520円でございます。

主なものとしましては、13節委託料の岩間所管支出額493万5,000円でございます。これは道路台帳更新の業務委託料でございます。

15節工事請負費の岩間所管支出額は245万7,000円でございます。道路管理の交通安全施設工事費でございます。

次に、決算書の85ページ、86ページをお開き願います。また、成果報告書の150ページ、151ページをお開き願います。

2目道路維持費でございますが、支出額2億2,900万7,607円、このうち岩間所管支出額は3,935万3,816円でございます。

主なものとしましては、15節工事請負費の岩間所管支出額の3,597万3,000円でございます。事業の内容でございますが、岩間地区内27路線の道水路の維持補修工事でございます。

次に、3目道路新設改良費でございます。成果報告書の152ページ、153ページをお開き願います。支出済額2億7,741万2,931円のうち、岩間所管の支出は4,976万6,887円でございます。

主なものとしましては、13節委託料の岩間所管の支出額870万590円、15節工事請負費の岩間所管支出額が3,327万2,500円、17節公有財産購入費の岩間所管の支出額220万6,110円、22節補償・補填及び賠償金の岩間所管支出額が504万370円でございます。これらの経費につきましては、岩間地区内12路線の測量設計や改良工事及び用地取得などの道路新設改良にかかわる事業費でございます。

また、工事請負費の繰越明許費1,333万6,000円のうち714万2,000円につきましては岩間所管でございます。これにつきましては、工事請負業者が倒産をいたしまして年度内に事業完了ができないために翌年度に繰り越したものでございます。

次に、決算書の87ページ、88ページをお開き願います。成果報告書の154ページから157ページになります。

5目市幹線道路整備費でございますが、支出済額10億1,853万8,925円のうち岩間所管の支出は1億4,867万7,507円でございます。

その主なものとしましては、13節委託料の岩間所管の支出額が4,818万2,330円、15節工事請負費の岩間所管の支出額1,386万円、17節公有財産購入費の岩間所管支出額は6,025万4,399円でございます。また、22節補償・補填及び賠償金の岩間所管支出額は2,478万807円でございます。これらの事業内容につきましては、市幹線道路の市道1級12号線と岩間八郷線の測量設計と新設工事費及び用地取得に伴う事業費でございます。

また、繰越明許費につきましては、1級12号線については1,420万円、岩間八郷線につきましては9,119万9,000円を翌年度に繰り越しております。この理由としましては、用地交渉や相続手続等により時間を要していることによるものでございます。

次に、3項河川費、1目河川総務費でございます。成果報告書の158ページ、159ページをお開き願います。支出済額307万2,092円のうち、岩間所管の支出は132万8,292円でございます。

主なものとしまして、15節工事請負費の岩間所管の支出額122万8,500円であります。工事内容は、軍勢川と巴川の土法等の補修でございます。

次に、決算書の91ページ、92ページをお開き願います。成果報告書の方は160ページ、

161ページになります。

7款土木費、4項都市計画費、7目岩間駅周辺整備事業費でございますが、当初予算額が4億7,240万1,000円、補正予算額が1億1,548万3,000円、予算額合計としまして5億8,787万4,000円でございます。支出済額は5億6,354万7,126円でございます。

主なものとしまして、13節委託料の703万3,650円ですが、都市計画道路の岩間駅東大通り線と日吉町古市線の測量設計及び補償調査等の委託費でございます。

決算書の93ページ、94ページをお開き願います。15節工事請負費の支出額795万9,000円ですが、これは都市計画道路の流末排水工事でございます。

次に、17節公有財産購入費3億6,056万841円と、22節補償・補填及び賠償金の1億6,272万9,736円の支出につきましては、都市計画道路2路線の整備に伴う用地取得費と補償費でございます。

また、繰越明許費につきましては、17節公有財産購入費449万7,000円と22節の補償・補填及び賠償金の1,859万8,000円でございますが、これにつきましては、移転先の住居建築に時間を要することによるものでございます。

以上が、岩間支所道路整備課所管の決算説明でございます。

海老澤委員長 ただいま説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

鈴木裕士君。

鈴木裕士委員 決算書の88ページ、市幹線道路整備費、ここで補償・補填及び賠償金のところで、繰越明許費が1級12号線で1,420万円、岩間八郷線9,119万円という話がありました。それで、難航しているという表現だったんですけども、現在もまだ難航しているのか。それと、その二つの道路についての交渉相手というのは何件あるのか、それを教えてください。

海老澤委員長 担当課長。

飯田岩間支所道路整備課長 難航している件数は、現在、3工区の方、八郷側でございますけれども、3件でございます。全体的な買収率、現在は85%を超えております。

1級12号線につきましては、相続の方で1件だけ難航しております。あとは全部用地は決まっております。

海老澤委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 質疑を終わります。

ここで暫時休憩いたします。ご苦労さまでした。

午後1時27分休憩

午後1時28分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、都市計画課所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

歳入、歳出決算と続けて説明を願います。

都市計画課長仲田幹雄君。

仲田都市計画課長 初めに、歳入についてご説明いたします。

決算書の21ページをお開き願います。成果報告書は34ページをごらんいただきたいと思います。

13款、1項、5目土木使用料、3節公園使用料、収入済額1,177万1,881円は、笠間芸術の森公園内で開催する陶炎祭、内匠のまつりなどに伴う収入でございます。

次のページをお開き願います。成果報告書では36ページをごらんいただきたいと思います。

2項、4目土木手数料、2節屋外広告物許可申請手数料の収入済額82万7,900円は、電柱そでつき広告など1,930件の屋外広告物許可申請手数料でございます。

次のページをお開き願います。成果報告書では42ページをごらんください。

14款、2項、4目土木費国庫補助金、2節都市計画費補助金の収入済額5億1,650万円のうち、都市計画所管といたしましては総合都市交通体系調査の補助金250万円でございます。

次に、3節住宅費補助金、収入済額3,318万4,000円は、福原市営住宅B棟建設補助金3,280万円及び市営住宅火災警報器の設置補助金38万4,000円でございます。

決算書の29ページをお開き願います。報告書は56ページでございます。

15款、3項、5目土木費委託金、2節公園費委託金の収入済額5,732万9,925円は、笠間市が指定管理者になっている笠間芸術の森公園の管理協定に基づく県委託金でございます。

続きまして、決算書の39ページをお開き願います。報告書は76ページでございます。

20款、5項、4目雑入、2節雑入の収入済額4億886万9,154円のうち、都市計画課分といたしましては都市計画図販売料35万5,400円と市営住宅火災警報器整備費補助金の82万8,000円及び区画整理推進協議会の解散による清算金12万9,715円でございます。

歳入につきましては以上でございます。

続きまして、歳出についてご説明申し上げます。

決算書の89ページをお開き願います。成果報告書は158ページでございます。

7款、4項、1目都市計画総務費、支出済額1億8,297万6,105円のうち都市計画課分といたしましては6,510万5,640円で、主な内容といたしましては、都市計画図作成事業ほか6件の事務事業にかかわる経費でございます。

13節委託料の支出済額7,109万2,975円のうち都市計画課分といたしましては6,321万2,198円で、主な内容としては、都市計画マスタープランの策定委託料、総合都市交通体系調査委託料、都市計画図作成委託料が主なものでございます。

次に、3目公共下水道費の支出済額9億3,719万4,000円は、公共下水道事業特別会計繰出金でございます。

次に、5目公園費の支出済額1億2,175万4,204円は、笠間芸術の森公園及び都市公園21カ所の公園の維持管理にかかわる経費でございます。

次のページをお開き願います。成果報告書では160ページでございます。

13節委託料1億834万8,992円の内訳でございますが、都市公園21カ所の清掃及び植栽管理などの委託料で525万9,992円、そのほかに笠間芸術の森公園の清掃及び植物管理、電気及び水道施設の保守点検委託などで1億308万9,000円でございます。

次に、15節工事請負費の支出済額139万6,500円は、友部第二児童公園の遊具の設置工事でございます。

次に、19節負担金補助及び交付金の支出済額660万4,406円の主なものは、笠間芸術の森公園の電気及び上下水道にかかわる負担金でございます。

なお、不用額289万4,594円は、前年度と比較いたしまして水道使用料が減ったことにより生じたものでございます。

続きまして、7目岩間駅周辺整備事業でございます。成果報告書では162ページをごらんいただきたいと思っております。

13節委託料の支出済額703万3,650円のうち、都市計画課分といたしましては岩間駅東土地画整理事業の設計業務委託料など222万6,000円でございます。

次のページをお開き願います。

5項、2目住宅建設費、支出済額1億1,962万9,234円は、昨年から2カ年継続事業で進めております福原市営住宅建設にかかわる経費でございます。

13節委託料の支出済額195万5,000円は、施工監理の業務委託料でございます。

15節工事請負費1億1,506万4,250円の内訳でございますが、住宅本体工事が1億143万円、そのほかに外構工事が1,363万4,250円でございます。

19節負担金補助及び交付金の支出済額177万8,000円は、水道加入者負担金でございます。歳出につきましては以上でございます。

海老澤委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 なければ、質疑を終わります。

以上で、都市建設部関係各課の一般会計歳入歳出決算の審査を終わります。大変ご苦労さまでございました。

ここで暫時休憩いたします。

午後1時38分休憩

午後1時39分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、会計課所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

歳入、歳出決算と続けて説明を願います。

会計管理者仲村新一郎君。

仲村会計管理者 説明をさせていただきます。

まず、収入の方ですけれども、37ページ、38ページをごらんいただきたいと思います。

一番上でございます。市預金利子として675万7,825円という金額が上がってございます。

これにつきましては、歳計現金通帳の預金利子でございます。

収入は以上でございます。

それから、45ページ、46ページをお願いいたします。

45ページの4目会計管理費です。46ページの支出済額の方をごらんいただきたいと思います。3節の職員手当等137万8,484円、これは時間外手当、笠間、岩間支所分を含んでおります。

それから、需用費81万5,464円、この中の多くを占める部分として、印刷製本費が45万4,545円、ほか消耗品等となっております。

それから、12節役務費19万767円、これにつきましては公金取扱損害賠償の保険料でございます。

それから、13節委託料657万606円、内容といたしましては財務システムの保守点検委託料として295万8,606円、それから常陽銀行に委託しております派出の事務、1カ所105万円ということで、3カ所、合わせまして315万円、それからデータプログラム作成46万2,000円となっております。

14節使用料及び賃借料488万1,240円、これにつきましてはプリンターの賃借料、36台ほど借りております。その賃借料が85万500円、それから財務会計システムの賃借料403万740円ということでございます。

それから、18節備品購入費53万250円、これは伝票の製本機を購入しております。これが49万3,500円、そのほかレジスター3万6,750円ということになっております。

それから、19節負担金補助及び交付金については、会計事務の研究会の負担金でございます。

以上でございます。よろしく申し上げます。

海老澤委員長 ただいま説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

鈴木裕士君。

鈴木裕士委員 決算内容、決算書そのものについてじゃない質問なんですけれども、会計管理者というのは、以前でいえば収入役という役職に相当する係だと思えます。

それで、会計管理者としての職務については、要は、市のお金の出る方、入る方、これを間違いなくやるということに一番最初突き当たるのかと思うのですけれども、そのほかに職務の内容としてどういったことをやっているのか、まずそれを教えていただきたいんですけれども。

海老澤委員長 会計管理者。

仲村会計管理者 そのほか、毎日、支払い伝票だとか、それがかなりの数来ております。そういったものの点検だとか、そのほかに金の出し入れですか、通帳の管理だとか、そういう細かい仕事がございます。

以上でございます。

海老澤委員長 鈴木（裕）委員。

鈴木裕士委員 市の金庫を預かる者として、いわゆる収入の増を図らなきゃいけない、支出の方を減らす努力をしなければいけない、こういったものがあるかと思えます。こういったことに関してはどうなんですか。どれぐらいタッチしているのか。

海老澤委員長 会計管理者仲村君。

仲村会計管理者 現在、笠間市の公金管理及び保護の対策の検討委員会というのがございます。その中では、いろいろ運用面ですか、そういったものを相談しながらやっておりますけれども、もちろん市長の方にも報告はしております。その中で、以前は定期預金とか普通預金だけの運用でしたけれども、去年あたりから国債での運用、短期国債ですけれども、3カ月程度のもの、そういったものでの運用を図っております。

以上でございます。

海老澤委員長 鈴木（裕）委員。

鈴木裕士委員 きこの決算委員会で、水道料金が未納だった場合、いわゆる延滞料を取っていますかという質問したわけなんですね。そうしたら、取ってないと。それで、家に帰って、水戸市に電話いたしました。実際どうなっているんでしょうかと。その回答は、管理者の方から指示があって、これからどうすべきか、徴収すべき方向で検討しているという回答があったんです。そういった、今、説明したようなことのほかに、細かい指示というものは、各部署に対しての指示、命令というのはしているんですか。

海老澤委員長 会計管理者。

仲村会計管理者 もちろん水道については企業会計であるし、私どもの方では取るとか取らないとかの権限はないです。多分、水道事業管理者の方で行っているのかなと思います。

以上でございます。

海老澤委員長 ほかにございませんか。

西山委員。

西山 猛委員 38ページ、市預金利子の件なんですけど、670万円からの利子が入ってい

るんですが、内訳を教えてください。

海老澤委員長 会計管理者仲村君。

仲村会計管理者 利子の内訳ですけれども、税金だとか、そのほかの交付金だとか、あるいは補助金だとか、そういったものが入る通帳なんです。これを歳計現金と言っているんですけれども、その利子が673万7,455円、あとは市税口とか、資金前渡の職員の預金分等の利子が1,400円とか1,458円入ってまして、合わせまして675万825円ということなんです。これは年間を通して支払いとかに使用しております通帳の利子でございます。普通預金の利子でございます。

海老澤委員長 西山委員。

西山 猛委員 ごめんなさい、質問の仕方が悪かったです。内訳というのは、銀行1カ所なのか、数カ所なのか。そこには金利の変動があるのか、格差があるのか、複数だとすれば、その決定権はだれにあるのか、どこに預金をするかその決定権はだれにあるのか。

海老澤委員長 会計管理者仲村君。

仲村会計管理者 この利子につきましては、常陽銀行で現在行っております。1カ所です。というのは、指定金融機関が常陽銀行になっておりまして、毎日の出し入れを行っておりますので、ほかの金融機関にはちょっと預金できないということで、常陽銀行の普通預金、利率については0.2%です。どこの金融機関でも、普通預金は0.2%で同じでございます。

海老澤委員長 西山委員。

西山 猛委員 では、その指定金融機関がかわればおのずとかわってしまうということですね。わかりました。

海老澤委員長 ここで質疑を終わります。

暫時休憩いたします。ご苦労さまでした。

午後1時49分休憩

午後1時49分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、監査委員事務局所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

歳入、歳出決算と続けて説明を願います。

監査委員事務局長西連寺洋人君。

西連寺監査委員事務局長 監査委員事務局西連寺でございます。よろしく願います。

監査委員事務局は、公平委員会の事務と監査委員会の事務を行っております。

まず、歳入から始めたいと思います。

決算書の19ページ、20ページをお開きいただきたいと思います。

分担金負担金で総務費負担金、公平委員会の負担金でございます。予算額2万8,000円のところ収入済額2万8,710円ということで、笠間市と公平委員会を共同設置する、また運営するための負担金ということで、笠間・水戸環境組合、それと笠間地方広域事務組合から収入したものでございます。

主要施策の成果報告書28ページ、29ページの方で、均等割とか職員割とか書いてございますので、後でござらんいただければと思います。

続きまして、同じく公平委員会の歳出でございます。

決算書の49ページ、50ページでございます。

10目の公平委員会費、一番下でございます。予算現額26万9,000円、支出済額26万6,880円でございます。笠間市と、先ほど申しました笠間・水戸環境組合、それと地方広域事務組合で共同設置しているわけですが、職員の勤務条件に関する措置の要求など審査するというような事務を行っております。

支出内容でございますが、報酬と、全国公平委員会の連合会や関東支部、茨城県公平委員会連合会の総会や研修会に出向くための旅費、それと需用費として書籍や研修に伴う食糧費、それと、次のページにいきまして、各連合会への負担金の補助ということで経費を支出してございます。

次に、監査の方いきたいと思います。

監査の歳出でございます。

決算書の57ページ、58ページをお開きいただきたいと思います。

6項の監査委員費でございます。予算現額2,430万2,000円、支出済額が2,417万8,624円でございます。報酬として180万円、監査委員さん3人分の報酬、それと、全国都市監査委員会や関東都市監査委員会等の総会や研修会へ行くための旅費、それと需用費として消耗品や昼食代、それと19節で各連合会への負担金補助等を支出しております。

以上でございます。

海老澤委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 質疑を終わります。

ここで暫時休憩いたします。

午後1時54分休憩

午後1時55分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、議会事務局所管の一般会計歳入歳出決算の審査に入ります。

歳入、歳出決算と続けて説明を願います。

議会事務局次長高野幸洋君。

高野議会事務局次長 それでは、議会事務局の説明をしたいと思います。

決算書の43ページ、44ページをお開きいただきたいと思います。

成果報告書82ページから85ページでございます。

議会費でございます。節によりましてご説明申し上げます。

9節旅費465万200円でございます。費用弁償が400万9,290円で、委員会研修等の旅費でございます。普通旅費が64万910円でございます。

10節交際費95万6,848円、122件交際費を支出してございます。

11節需用費292万8,235円、印刷製本費で、議会だよりが主なものでございます。

13節の委託料365万6,005円でございます。会議録作成委託料でございます。

それから、19節負担金補助及び交付金で756万8,370円、負担金が119万9,000円、県市議会議長会の負担金等でございます。交付金636万9,370円、政務調査費28名分の支出でございます。

以上でございます。

海老澤委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 質疑を終わりにいたします。

ここで暫時休憩いたします。ご苦労さまでした。

なお、2時15分再開いたします。

午後1時57分休憩

午後2時12分再開

海老澤委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいま市長、副市長、教育長、並びに各部長等の出席をいただきました。

ただいま今期市議会定例会におきまして当決算特別委員会に付託になりました認定第1号 平成19年度笠間市一般会計及び同特別会計歳入歳出決算認定についてないし認定第6号 平成19年度笠間市立病院事業会計決算認定についての説明及び質疑が終了いたしました。

これより討論に続き採決いたします。

討論を行います。

発言を許可いたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

海老澤委員長 討論がありませんので、討論を終わります。

これより1件ごとに採決いたします。

採決方法は、挙手により行います。

初めに、認定第1号 平成19年度笠間市一般会計及び同特別会計歳入歳出決算認定についてを採決いたします。

本件は、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

海老澤委員長 挙手全員。よって、本件は原案のとおり認定することに決定をいたしました。

次に、認定第2号 平成19年度笠間市笠間水道事業会計決算認定についてを採決いたします。

本件は、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

海老澤委員長 挙手全員でございます。よって、本件は原案のとおり認定することに決定をいたしました。

次に、認定第3号 平成19年度笠間市友部水道事業会計決算認定についてを採決いたします。

本件は、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

海老澤委員長 挙手全員。よって、本件は原案のとおり認定することに決定をいたしました。

次に、認定第4号 平成19年度笠間市岩間水道事業会計決算認定についてを採決いたします。

本件は、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

海老澤委員長 挙手全員であります。よって、本件は原案のとおり認定することに決定をいたしました。

次に、認定第5号 平成19年度笠間市工業用水道事業会計決算認定についてを採決いたします。

本件は、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

海老澤委員長 挙手全員であります。よって、本件は原案のとおり認定することに決定をいたしました。

次に、認定第6号 平成19年度笠間市立病院事業会計決算認定についてを採決いたします。

本件は、原案のとおり認定することに賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

海老澤委員長 挙手全員であります。よって、本件は原案のとおり認定することに決定をいたしました。

以上をもちまして、当決算特別委員会に付託になりました平成19年度笠間市一般会計決算、特別会計決算、企業会計決算認定のすべての審査を終了いたしました。

海老澤委員長 閉会に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

今回は、各会計決算の審査を3日間という限られた時間の中で行いましたが、ふなれな議事進行にもかかわらず、終始熱心にご審議を賜り、予定どおり終了することができました。委員各位並びに執行部方々に対し、改めまして御礼申し上げます。

今回の決算特別委員会での審査の経過及び結果については、今期定例会最終日に報告させていただきます。

なお、委員会報告書の作成については、委員長に一任させていただきたいと思っておりますので、ご了承を願います。

ここで、市長よりごあいさつをいただきたいと思っております。

市長。

山口市長 それでは、一言ごあいさつを申し上げたいと思っております。

海老澤委員長初め、各委員の皆様には、3日間にわたり慎重なるご審議をいただきまして、まことにありがとうございます。19年度の決算認定すべて認定をいただきまして、感謝を申し上げたいと思っております。

また、質疑の中では、各課に対してさまざまなご意見をいただいたわけでございます。執行部としては、その意見を十分生かしながら、今後、行政運営、ひいては行政サービスに努めてまいりたいと考えておるところでございますので、今後のご理解をいただきまして、お礼のごあいさつにかえさせていただきたいと思っております。

ありがとうございました。

海老澤委員長 ありがとうございました。

次に、議長よりあいさつをいただきたいと思っております。

議長。

石崎議長 では、指名がございましたので、一言ごあいさつ申し上げます。

9日、10日、11日と3日間、決算特別委員会に付託された案件が全部終了し、認定されましたことは、大変ありがたく存じております。委員の皆様には、忙しいところ本当に慎重審議され、すべての案件を満場一致でご承認いただきました。これからも、皆さんと共に笠間市発展のために協力して、一生懸命頑張っていこうではありませんか。大変ご苦労さまでございました。

台風13号が発達して、茨城に来ないようにお祈りしながら、あいさつといたします。

本日はご苦労さまでございました。

海老澤委員長 ありがとうございました。
以上で、決算特別委員会を閉会いたします。
大変ご苦労さまでございました。

午後 2 時 2 0 分閉会